平安時代

名前

問1　平安時代中期、社会に不安が広がる中で「阿弥陀如来を信じれば死後に極楽浄土へ行ける」という教えが流行しました。この思想に基づき、藤原頼通が宇治に建立した、中央の堂の左右に翼を広げたような回廊を持つ建築物の名称と、その背景にある仏教の教えの組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2025年 群馬県公立入試 類似）

1. 平等院鳳凰堂 ― 禅宗
2. 東大寺南大門 ― 浄土教
3. 中尊寺金色堂 ― 浄土教
4. 平等院鳳凰堂 ― 浄土教

問2　11世紀半ば、摂政を務めた藤原頼通が宇治に建立した建築物を選びなさい。この建物は、当時の貴族の間に広まった、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰に基づき、阿弥陀如来像が安置されていることで知られています。（2022年 徳島県公立入試 類似）

1. 法隆寺五重塔
2. 東大寺南大門
3. 中尊寺金色堂
4. 平等院鳳凰堂

問3　8世紀初めに日本で発行された和同開珎などの銭貨が次第に使われなくなった後、平安時代末期に平清盛が大輪田泊を整備して行った日宋貿易において、日本国内の貨幣経済に大きな影響を与えた輸入品は何ですか。（2020年 高知県公立入試 類似）

1. 宋銭（銅銭）
2. 鉄砲
3. 高麗青磁
4. 生糸

問4　藤原道長が詠んだ「この世をば わが世とぞ思う 望月の 欠けたることも
無しと思えば」という和歌について、道長がこの歌の中で自分の権力の状態を例えた言葉として、最も適切なものはどれですか。（2023年 三重県公立入試 類似）

1. 春の訪れ
2. 沈まぬ太陽
3. 満月
4. 穏やかな波

問5　飛鳥時代から平安時代にかけての日本と中国の王朝との外交に関する出来事について、時期の古いものから順に正しく並んでいるものはどれですか。（2015年 富山県公立入試 類似）

1. 小野妹子の派遣 → 白村江の戦い → 最澄・空海の入唐 → 遣唐使の停止
2. 白村江の戦い → 小野妹子の派遣 → 遣唐使の停止 → 最澄・空海の入唐
3. 最澄・空海の入唐 → 小野妹子の派遣 → 白村江の戦い → 遣唐使の停止
4. 小野妹子の派遣 → 最澄・空海の入唐 → 白村江の戦い → 遣唐使の停止

問6　784年に都を長岡京に移したものの、その後わずか10年ほどで再び遷都が行われました。794年に山城国に新しく造営され、それから約400年間にわたる時代の中心となった都と、その遷都を断行した天皇の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2024年 長野県公立入試 類似）

1. 平城京と桓武天皇
2. 平城京と聖武天皇
3. 平安京と桓武天皇
4. 平安京と聖武天皇

問7　894年に遣唐使が停止されてから、15世紀前半に琉球王国が成立するまでの期間を記した年表において、平安時代中期から後期にかけて見られる「国風文化」の特色を説明したものとして、最も適切なものを選んでください。（2021年 新潟県公立入試 類似）

1. 禅宗の影響を受けた武士たちの間で、水墨画や書院造、茶の湯など、簡素で落ち着いた趣を尊ぶ文化が広まった。
2. 漢字を簡略化した「かな文字」が使われ、女性による優れた物語や随筆などの文学作品が多く生まれた。
3. 経済力をつけた有力な町人が担い手となり、人形浄瑠璃や歌舞伎、浮世絵などの華やかな文化が上方で花開いた。
4. 聖武天皇の時代に、仏教の力で国家を守ろうとして東大寺や国分寺が建立され、国際色豊かな文化が栄えた。

問8　遣唐使とともに唐へ渡った僧たちが、帰国後に新しい仏教を広めた動きについて述べた文として正しいものはどれですか。（2020年 北海道公立入試 類似）

1. 最澄は比叡山に金剛峯寺を建て、天台宗を広めた。
2. 空海は比叡山に金剛峯寺を建て、天台宗を広めた。
3. 最澄は高野山に延暦寺を建て、真言宗を広めた。
4. 空海は高野山に金剛峯寺を建て、真言宗を広めた。

問9　平安時代中期、遣唐使の廃止などを背景に、それまでの中国（唐）の影響から脱して、日本の風土や生活、日本人の感情に合った文化が生まれました。この文化を何と呼びますか。（2019年 富山県公立入試 類似）

1. 飛鳥文化
2. 元禄文化
3. 国風文化
4. 天平文化

問10　平安時代、藤原道長などの藤原北家が政治の実権を握るために用いた手法について、その内容を正しく説明しているものはどれですか。（2025年 岡山県公立入試 類似）

1. 地方の武士団を武力で圧倒し、その軍事力を背景に天皇から政治全般の委任を受けた。
2. 自分の娘を天皇と結婚させ、その間に生まれた子を次の天皇に即位させることで、天皇の祖父として実権を握った。
3. 仏教の教えを政治に取り入れるため、自らが出家して上皇となり、天皇に代わって政治を行う仕組みを整えた。
4. 海外との貿易を独占して莫大な富を蓄え、その経済力によって貴族たちの支持を集めて権力を維持した

問11　平安時代の政治において、藤原氏による摂関政治が全盛期を迎えていた時期の社会背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。この時期には、1053年に建立された平等院鳳凰堂に代表されるような、極楽浄土を願う信仰も広まりました。（2019年 滋賀県公立入試 類似）

1. 禅宗の影響を強く受け、水墨画や茶の湯などの簡素な美しさを尊ぶ文化が形成された。
2. 武士が政治の実権を握り、素朴で力強い文化が東国を中心に広まった。
3. 遣唐使を通じて唐の進んだ制度や仏教文化を積極的に取り入れ、国際色豊かな文化が形成された。
4. 大陸文化の影響を消化し、かな文字による文学や日本独自の美意識が反映された文化が発展した。

問12　平安時代において、藤原氏が行った摂関政治や平清盛による政治に共通する、権力を掌握するための手法として最も適切なものはどれですか。（2024年 岩手県公立入試 類似）

1. 仏教の力を利用して天皇の権威を否定し、有力な寺院と結びつくことで、僧侶を中心とした新しい政治体制を築く。
2. 自分の娘を天皇のきさきとして送り込み、その間に生まれた子が天皇になった際に、外祖父として政治の実権を握る。
3. 武力によって朝廷を制圧し、天皇を廃して自分自身が新しい天皇として即位することで、独裁的な政治を行う。
4. 日宋貿易を独占して得た経済力を背景に、地方の武士団を組織して、朝廷から独立した新しい政府を樹立する。

問13　平安時代初期の仏教の動向やその背景について説明した文として、適切なものはどれか。（2018年 埼玉県公立入試 類似）

1. 最澄は、社会不安を取り除くため、浄土信仰に基づいて念仏を唱える教えを民衆に広めた。
2. 最澄は、唐から招かれた高僧として、日本に正しい僧侶のルールである戒律を伝えた。
3. 最澄は、奈良の寺院勢力の協力を得て、東大寺で新しい戒律を広める活動に従事した。
4. 最澄は、比叡山に延暦寺を建立し、厳しい修行を通じて国家の安泰を祈る天台宗を広めた。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 平等院鳳凰堂 — 浄土教	藤原氏が摂関政治で権勢を誇った時代、末法思想（仏教の教えが衰えるという考え）の影響で、死後の救済を求める浄土教が貴族から民衆まで広く浸透しました。藤原頼通は、この極楽浄土の様子を地上に再現しようと、池を中心とした浄土庭園を備える平等院鳳凰堂を京都の宇治に建立しました。選択肢にある中尊寺金色堂は奥州藤原氏によるもの、東大寺南大門は鎌倉時代の建築です。
問2	答え 4 平等院鳳凰堂	藤原氏の全盛期を築いた藤原道長の子、頼通が宇治の別荘を寺に改めたものです。当時の社会では、仏教の教えが衰える「末法」の世が到来したと考えられており、極楽浄土の様子を地上に再現しようとしてこの豪華な阿弥陀堂が建てられました。
問3	答え 1 宋銭（銅銭）	平清盛が推進した日宋貿易では、日本から金や木材、水銀などが輸出される一方で、宋からは大量の宋銭（銅銭）が輸入されました。当時、日本では独自の貨幣製造が途絶えていましたが、この輸入された宋銭が国内で流通したことにより、日本は再び本格的な貨幣経済の時代へと入っていくことになりました。
問4	答え 3 満月	この歌にある「望月」とは満月のことを指しています。道長は、三人の娘がそれぞれ天皇の后（中宮）となった祝宴の席で、自分の繁栄が一点の欠けもない満月のように完璧であることを誇り、この歌を詠みました。当時の藤原氏が極めて強い権力を持っていたことを象徴するエピソードとして知られています。
問5	答え 1 小野妹子の派遣 → 白村江の戦い → 最澄・空海の入唐 → 遣唐使の停止	7世紀初頭の飛鳥時代、聖徳太子によって小野妹子が遣隋使として中国の隋へ派遣されました。その後、663年には百済の再興を助けるために朝鮮半島へ出兵した白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗北しました。平安時代に入ると、804年に最澄や空海が遣唐使とともに唐に渡り、新しい仏教を日本に伝えました。そして894年、菅原道真の提案により遣唐使が停止されることとなりました。
問6	答え 3 平安京と桓武天皇	奈良の平城京で強大になった仏教勢力から政治を切り離し、律令政治を立て直すために、桓武天皇は784年に長岡京へ、そして794年に平安京へと都を移しました。これが平安時代の始まりです。
問7	答え 2 漢字を簡略化した「かな文字」が使われ、女性による優れた物語や随筆などの文学作品が多く生まれた。	国風文化の最大の特徴は「かな文字」の発明です。これによって、それまでの漢文では表現しきれなかった日本人の微妙な感情を表現できるようになり、紫式部の『源氏物語』や清少納言の『枕草子』といった、日本文学を代表する作品が誕生しました。
問8	答え 4 空海は高野山に金剛峯寺を建て、真言宗を広めた。	平安時代初期の新しい仏教（密教）において、空海は「高野山・金剛峯寺・真言宗」、最澄は「比叡山・延暦寺・天台宗」をそれぞれ拠点としました。山の名称と寺院名、宗派名の組み合わせを正しく理解することが重要です。
問9	答え 3 国風文化	894年に菅原道真の建議によって遣唐使が停止されたことで、中国との公的な交流が途絶えました。これをきっかけに、それまでの唐の影響を強く受けた文化から、日本独自の感性を反映した文化へと発展しました。
問10	答え 2 自分の娘を天皇と結婚させ、その間に生まれた子を次の天皇に即位させることで、天皇の祖父として実権を握った。	藤原氏は、自分の娘を天皇の后（きさき）として送り込み、その間に生まれた皇子を次の天皇に立てる「外戚（がいせき）」関係を築くことで権力を安定させました。天皇の母方の祖父という立場を利用し、天皇が幼いときには「摂政」、成人してからは「関白」として政治の主導権を握る「摂関政治」を確立しました。
問11	答え 4 大陸文化の影響を消化し、かな文字による文学や日本独自の美意識が反映された文化が発展した。	摂関政治の全盛期は国風文化の円熟期にあたります。この時期、紫式部による『源氏物語』や清少納言による『枕草子』といった、かな文字を用いた文学作品が誕生しました。また、建築面では阿弥陀如来を祀る平等院鳳凰堂が建立されるなど、日本の風土に根ざした貴族文化が花開きました。
問12	答え 2 自分の娘を天皇のきさきとして送り込み、その間に生まれた子が天皇になった際に、外祖父として政治の実権を握る。	藤原氏や平清盛は、天皇との血縁関係を結ぶことで権力を維持しました。藤原道長は娘の彰子を一条天皇のきさきとし、その子が後一条天皇として即位することで外祖父（母方の祖父）となりました。同様に、平清盛も娘の徳子を高倉天皇に入内させ、その間に生まれた安徳天皇を即位させています。このように、天皇の母方の親戚である「外戚」という立場を利用して、政治的な主導権を確保する手法が取られました。
問13	答え 4 最澄は、比叡山に延暦寺を建立し、厳しい修行を通じて国家の安泰を祈る天台宗を広めた。	桓武天皇が平安京へ遷都した理由の一つは、奈良の仏教勢力が政治に強く介入するのを避けるためでした。これに伴い、都から離れた山中で修行を行う最澄（天台宗）や空海（真言宗）の新しい仏教が、貴族だけでなく国家からも重んじられるようになりました。他の選択肢にある「戒律を伝えた」のは鑑真、「念仏を広めた」のは後の鎌倉時代の僧侶たちの特徴です。